

『改訂新版 Kanji in Context』開発の基本コンセプトと 想定する学習手順

青 木 惣 一

【要旨】

常用漢字表が2010年に改訂され、常用漢字が2,136字に増補がなされたのに合わせ、本センターが1994年に出版した『Kanji in Context』を全面的に見直し、『改訂新版 Kanji in Context』として2013年12月にワークブック2冊と共に出版した。

本稿では、この『改訂新版 Kanji in Context』を用いて漢字教育を行おうとする教師および本教材を使おうと考える学習者を対象に、本教材開発にあたっての基本コンセプトや漢字教材としての特徴、そして想定されている学習方法等を報告する。本教材の特徴として、1) 学習項目を絞り込んだこと、2) 既習の漢字と関連させて学習できるよう提出順を工夫したこと、3) 漢字の読みに焦点を当てて基本語を設定し、それを優先的に学習できるようにすることで、常用漢字が用いられた語の語義推測力養成と学習者の負担軽減を両立させたこと、4) 語の学習を重視しつつも、語の学習において未習漢字がないよう工夫したこと、等が挙げられる。

【キーワード】

漢字学習、新常用漢字、段階的学習、漢字提出順、未習漢字

1 はじめに

中・上級学習者を対象に常用漢字すべてを習得させることを目的とした『Kanji in Context』は、1994年に出版されて以来、特に非漢字圏の学習者に好評を博してきた。しかし、出版以来20年が経過し、語彙や例文の内容等に古さが目立ち始めていた。2010年には、改訂常用漢字表が新たに発表され、常用漢字が1,945字から2,136字へと増補がなされた¹。そこで、この常用漢字表の改訂に合わせ、新常用漢字すべてを含めると共に、選定されている語彙やその意味、例文等を一からすべて再検討し、さらに旧版の使用で得られた様々な知見を加えた『改訂新版 Kanji in Context』を作成することとし、2013年12月にワークブック2冊と共に出版した²。

本報告の目的は、この『改訂新版 Kanji in Context』を用いて漢字教育を行おうとする教師および本教材を使おうと考える学習者を対象とし、本教材開発にあたっての基本コンセプトや漢字教材としての特徴、そして想定されている学習方法等を報告することで、本教材の効果的な使用に役立つようにするというものである。

2 本教材の目標

本教材は、中・上級の学習者に対象を絞り、学習者が常用漢字すべてを理解できるようになるよう段階的に学習が進められる教材として作成された。

本センターは、日本研究をはじめとして、日本関係の専門家を養成するための日本語教育機関であり、日本語を使って専門分野の仕事を行い得る日本語力を身に付けさせることが目標となっている。そのため、必要とされる漢字力は、一般的な日本語母語話者と同程度の漢字力であり、それは常用漢字の習得ということになる。2010年には、常用漢字表が大幅に改訂され、1,945字から196字が追加、5字が削除されて2,136字の新常用漢字表が発表された。今後は学校教育や一般の使用の基準は、この新常用漢字に準拠したものになると考えられるため、この新常用漢字すべての習得を目標とすべきと考えた。

3 本教材の特徴

上述の通り、本教材は全常用漢字の習得を目標とするものであるが、日本語母語話者が小学校1年から高校3年生までの12年間に学習する漢字をごく短期間³で習得させることは、たとえある程度の漢字力を有する中・上級学習者が想定されているとしても非常に難しく、特に非漢字圏の学習者にとっては単なる努力の積み重ねで対応できるものではない。そのため、本教材では以下の方策を採ることで、その実現を図った⁴。

3-1 学習項目を中上級日本語学習者にとって不可欠なものに絞り込む

中・上級学習者を対象とし、専門分野の仕事日本語で行う力を身に付けるということを考えると、そこで必要とされる能力は極めて広範囲な能力となる。常用漢字の習得ということ一つを取ってみても、それぞれの漢字を正確に書くことも必要と言えるし、その際、正しい書き順で、はねやとめ等にも注意して学習することも重要であろう。また、2,136の常用漢字を覚えたとしても、実際の文章に現れるのは、漢字単体ではなく、それらの組み合わせである語であり、最終的には漢字語彙を習得することが必要であり、そこで必要とされる語彙数は膨大である。このように考えていくと、漢字の習得と一言で言っても、そこで必要とされる能力は非常に広範囲なものとなる。漢字教材は、それらをできる限り学習項目として含んだものとなりがちであり、結果として、ある種の辞書のようなものとなりやすい。しかし、短期間で効率的な習得を多くの学習者に実現させようとする学習教材であってみれば、このような辞書的な教材ではなく、優先的に身につけるべき学習項目を具体的に達成可能なプログラムで段階的に提供していける教材とすることが重要だと考えた。そのため、漢字の学習、語彙の選定について以下の絞り込みを行った。

第一は、漢字の書きよりも読みに重点を置いていることである。本教材は、基本的な漢

字については既に習得済みの中上級学習者を対象としていること、そして上級レベルの漢字については、既習の漢字の組み合わせや対照、連想等から漢字の字形を記憶することが多くなると想定されること。加えて、漢字の認知と読みができれば、手書き以外では不便を感じることは少ないだろうと考えられること等から、ワークブックにおいても、漢字を書くといったタスクは含まれておらず、漢字習得に際しての優先事項とは考えていない。もちろん、漢字を正確に書けることは重要なことであり、それが必要とされる場面はいくらでも考えられるが、漢字意味の理解、読みの重要性と比較すれば一步譲ることになるだろう。以上から、本教材では、漢字の理解に焦点を充てることにした。

第二は、たとえ使用頻度の高い語であっても、初級レベルで習得されていると考えられる語彙は扱わないということである。その一方、語としてはそれほど基本的なものではなくても、中上級学習者にとって重要であれば積極的に扱うこととした、例えば、ユニット1で学習する「万」は非常に基本的な漢字であるが、その漢字の学習のため、「一万円」という基本的な語に加えて、「万全の」という語が挙げられている。以上のように、語の選択に当たって、初級レベルの語を省き、中上級で必要とされる語を積極的に含めることで、中上級学習者にとって効率的に学習ができるようになっている。また、この語彙の使用頻度を最優先事項として語の選定を行わないというコンセプトは、後述の基本語選定にあたって採用されている。

3-2 使用頻度や重要性・必要性等によって漢字を7水準に分類し、各水準で字形・音・意味・語のつながりを基に漢字を配列する

漢字の提出順について

漢字教材における漢字の提出順（学習順）としてよく使われる基準は、その漢字を使った語の一般性・頻度に着目し、よく使われる語を構成する漢字から順に配列していくものである。この配列の利点は、学習途上において、それまで学習した事柄が最も効果を生むという点である。確かに、たとえ学習がその段階で中断したとしても、その段階で最も効率的な学習がなされたことになるであろうし、ある日本語のテキストが与えられた時、そこに表れた漢字の中の何パーセントが既習の漢字かによってテキストの理解が決まるのであれば、確率的によく出現する漢字を先に習得することが効率的だということになるだろう。

しかし、この方法にはいくつかの欠点がある。第一に、学習漢字間に何ら関連がなく提出がなされてしまうという点である。漢字は1字であっても、その字形、読み、意味、そこから構成される語等の習得が必要であり、習得は学習者にとって負担の大きいものである。もし既習の漢字と関連づけることができれば、新しい漢字の学習効率は大幅に向上すると考える。例えば、「話」という漢字を学習する際には、「聞」や「読」「書」と関連づけて学習すべきであろうし、「病」と「院」は「病院」として学習するのが望ましいで

あろう。しかし、頻度順に漢字を提出すると、このような同一意味分野、同一語の構成漢字のまとまりが無視され、それぞれ無関係な漢字として単独に提出されることとなってしまふ。そのため、学習する上での手がかりが得られず、学習者の負担が増す。

第二は、語の学習を中心に、漢字を学習していくことが難しくなるという点である。多くの漢字は、語や文の中で使われる。したがって、漢字の学習においては、単独の漢字を学習するのではなく、その漢字がどのような語で使われているのかが重要となる。その意味で、漢字学習は、基本的には語の学習であるときえ言える⁵。しかし、頻度で漢字提出順を決めると、ある漢字を用いた代表的な語があるとしても、その語を構成する別の漢字が未習であれば、その段階で、その代表的な語を用いて漢字の学習ができないという結果となる。語の学習を中心に漢字学習を進めていくとするならば、そこで選ばれる語を考慮に入れて漢字の提出順を決める必要が生まれるが、頻度順ではその対応ができない。

以上のように、頻度で漢字の提出順を決定していくことについては、漢字学習の手がかりが与えられず、また語の選択に際しても大きな制限を受けるという問題が生じる。しかし、漢字が構成する語の頻度を考慮して漢字の学習を進めることにも大きな利点がある。そこで、本教材では、全常用漢字を、漢字の使用頻度や重要性等から、大きく7つの水準に分け⁶、それぞれの水準内で、提出順を漢字の偏や旁等の構成要素、字形、音の類似性、意味的関連性、語の構成漢字の繋がりを基に提出順を決めることで、学習効率を高めるという方策を採っている⁷。

本教材での漢字提出順について一例を挙げる。第109回では、11の漢字が学習目標となっているが、それらは以下の提出順となっている。

鉛→銅→	胴→腕→肺→胆→肌→飢→餓→飼→旨→脂→肪	→肥
第108回	第109回	第110回

これらは、同じ第3水準に属する漢字であり、総じておおよそ同程度の重要性を持つと判断される漢字群である。第108回の最後に提出された漢字の最後は「銅」であったが、その「銅」と【旁】と【読み】が共通しているという理由で、第109回の最初に「胴」が提出され、以下、【意味カテゴリーの共通性】で「腕」、【偏・意味カテゴリーの共通性】で「肺」、【偏・意味カテゴリー共通性】で「胆」、【偏・意味カテゴリーの共通性】で「肌」、【旁の共通性】で「飢」、【よく使われる語の構成漢字・偏の共通性】で「餓」、【偏の共通性】で「飼」、【音の共通性】で「旨」、【音・旁の共通性】で「脂」、【よく使われる語の語構成・偏の共通性】で「肪」となり、それが第110回の「肥」に【偏・意味の共通性】でつながっていく。以上のように、既習漢字と新出漢字が様々な形で関連づけられるように提出順が決められており、そのことが、学習する上で記憶の助けとなることが期待されている。

また、頻度順で並べると、先の例の「飢餓」や「脂肪」という語を構成する漢字は頻度が異なるため、それぞれが別の課で提出されることになる。そのため、先に提出された漢字のためにこれらの語を学習したくても、未習漢字が含まれる語例となり、学習が難しくなる。しかし、「脂」と「肪」を学習する上で最も効率的なのは、やはり「脂肪」という語を同時に学習することであろう。

漢字には、意味、音、字形の繋がりがあり、さらにはその構成素や構成語の繋がりもある。これらは、漢字の学習を効率的に進める上で極めて有用な情報であり、その習得は不可欠とさえ言える事柄である。これらの情報を最大限活用しつつ、学習が進められるようにと提出順が決められている。

JLPT・漢検との関連について

以上、本教材においては、漢字の一般性による水準分けと、既習漢字との関連に基づく提出順という独自の方法が採られている。この方法により、学習が段階を追って効率的に進むと考えられるが、学習者がそれぞれの学習段階（水準）において試験等を受ける場合に、自分が学習した漢字が試験で出題されるであろう漢字とどの程度一致するのかは気になるところであろう。そこで、本教材の漢字学習順と、日本語能力試験、あるいは漢字能力検定における漢字の割当てとの関連について報告する。

旧日本語能力試験の1級～4級の割当て漢字⁸と、本教材の水準分けとの関係を表1と2に示す（次頁）。表1は旧日本語能力試験漢字カバー率（水準別）で、本教材のそれぞれの水準において、旧日本語能力試験の各級の割当て漢字をどの程度カバーしているかを示したものである。第1水準の学習をすることで、4級の漢字はほぼ（96.1%）カバーしていることが分かる。また、第2水準まで学習すると、3級漢字の8割以上（84.2%）がカバーされ、第3水準まで行くと、4級、3級の漢字は100%、2級の漢字についても9割（89%）の漢字をカバーすることになる。第4水準になると、2級漢字も96.6%がカバーでき、第5水準に至っては、1級漢字についても84.2%がカバーできることが分かる。以上から、2級レベルを目指すならば、第3～4水準の学習でも十分な力がつくと言えよう⁹。表2は、旧日本語能力試験漢字数（水準別・累積）で、表1をパーセンテージではなく、漢字数で示したものである。

表1 旧 JLPT 漢字カバー率 (水準別)

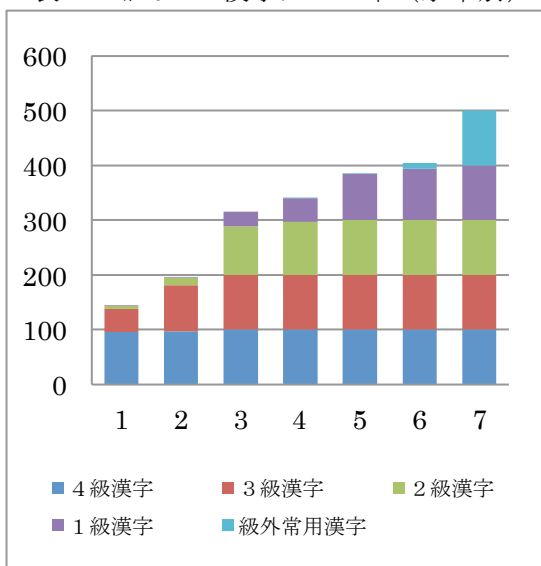


表2 旧 JLPT 漢字学習数 (水準別・累積)

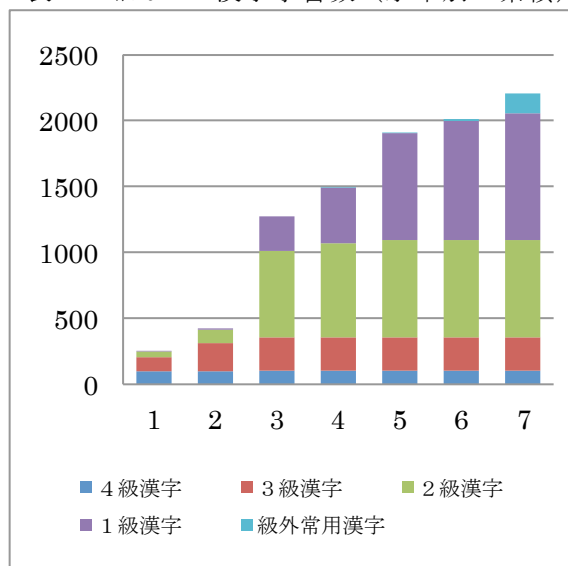


表3と4は、漢字能力検定の各級割当て漢字と、本教材の水準分けとの関係を示したものである。表3は、漢検漢字カバー率(水準別・累積)である。漢検10級～5級を小学校レベル、漢検4～3級を中学校レベル、漢検2級を常用漢字習得レベルとしてまとめた。これを見ると、第3水準までの学習で、漢検5級(小学校卒業レベル)の94.2%がカバーできるが、漢検3級(中学校卒業レベル)に至るには、第5水準(92.8%)まで学習する必要がある一方、第5水準までの学習をすると、漢検2級(常用漢字習得レベル)の8割(79.8%)がカバーできることが分かる。先の日本語能力試験と比較すると、その提出順の異なりが大きいことが見て取れる。これは、本教材が日本語学習者、とりわけその中上級学習者を対象としていることから来る違いであろう。表4は漢検漢字数(水準別・類別)で、表3を漢字数で累積に表したものである。

表3 漢検漢字カバー率 (水準別・累積)

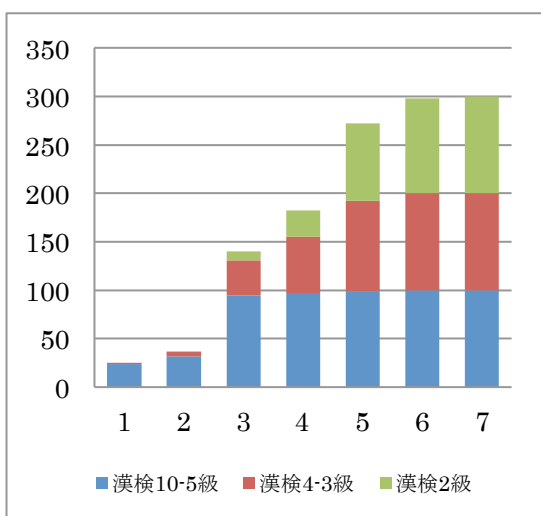
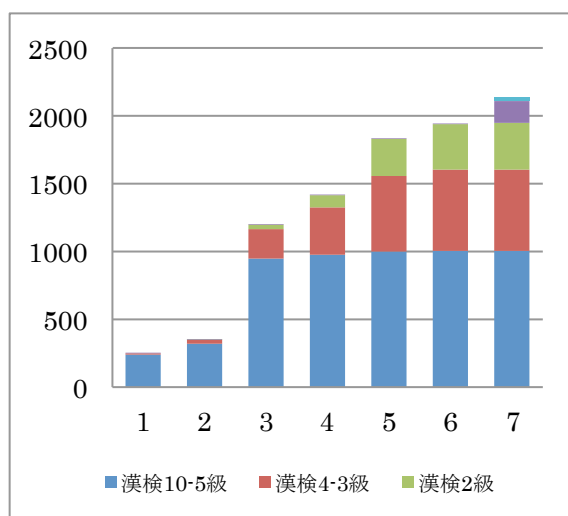


表4 漢検漢字学習数 (水準別・累積)



3-3 漢字の読みに着目し、各漢字の基本語を設定し、漢字だけでなく、語彙も段階的に学習できるようにする

二重の段階的学習

本教材は、中上級学習者を対象に、全常用漢字の習得を目的とする教材である。旧版においても同様の目的を掲げ、そのために漢字語彙約 9,000 語を学習する教材とし、水準毎に段階的に学べる構成とした。センターのレギュラーコースにおいてもこの教材を使った SKIP コースが設定され、10 ヶ月間に本教材をすべて学習するコースが設けられた。

しかし、本教材を 10 か月のレギュラーコース在籍中にすべてを修了する者は決して多いとは言えなかった。日本語の通常授業に加えて毎日、週に 50 平均の漢字と、それらを使った語約 225 語の学習を 40 週間にわたって行うのは、学習者にとってやはり大きな負担であった。そこで、各漢字で提出されている語例を絞り込み、約 3,300 語を選んでそれらを先に学習するというやり方に変更した。つまり、漢字を第 1 水準から第 7 水準へと段階的に学習することに加え、漢字語例も基本語から一般語へと段階的に学習できるように構成し、漢字と語彙の二重の段階的学習が可能となるよう構成したのである。この二重の段階的学習により、本センターでの本教材達成率は大幅に向上することとなった。3,300 語でも、非漢字圏の学習者にとっては決して容易なものではないが、10 か月間に全常用漢字を習得するという目標を達成する上で求められる最低限の語数だと思われる。そこで、本教材の改訂版を作成する上で、まずは 3,000～4,000 語で常用漢字を一通り学習し、その後、9,000 語レベルへと段階的に語彙を拡張していくという学習方法を採用できるように構成したいと考えた。

絞り込みの基準

次にどのような基準で語を絞り込むかであるが、本教材では、常用漢字の読みを基準に選定することとした。

3,000～4,000 語レベルと考えると、たとえ高頻度語を学習したとしても、上級レベルの読解をする上で十分な語彙数とは決して言えない。あるテキストを見ても、わずかの重要語のほかはすべて未知語ということになるだろう。もしそうであるならば、高頻度の重要語習得に優先して、あるテキストに出現する未知語の意味を推測する力を養うことが重要であるように思われた。たとえあるテキストに出現した語の多くが未知語であっても、そこで使われている漢字が全て既知のものであれば、その漢字を使った語が想起でき、その想起された語の意味が分かる。結果、その未知語の意味を推測する手がかりが得られ、テキスト全体の理解につながるだろう。また、出現した未知語を辞書等で調べる場合においても、そこで使われた漢字の読みの可能性が分かっているならば、その労力は大幅に軽減されると思われた。

そこで、たとえ未知語が表れても、その語の意味や読みを推測して読み進められることを目標に、すべての常用漢字の読みを含む語彙を絞り込み、それらを基本語として優先して学習していくこととした¹⁰。例えば、「記」については、「き」と「しるす」という読みがあり、語例として「日記」、「記事」、「記者」、「記号」、「暗記」、「記憶」、「記す」が挙げられているが、各読みに対する語を最低一つ選ぶという方針のもとに、ここでの基本語は「日記」と「記す」とした。つまり、「き」と読む語の中で最も一般的で覚えやすい語として「日記」、「しるす」についても同様に「記す」を選んでいるのである。語の頻度で言えば、「記す」より「記事」、「暗記」といった語の方が高いのだが、「き」の読みは「日記」という語で代表されているので、他の「き」と読む語は選ばれていない。

このように、各漢字の各読みに対して基本的に一語を、一般性を考慮して選定し、それらを基本語とするという作業を行い、約 3,700 語を絞り込んだ。これらを基本語とし、ワークブックにおいても基本語だけを優先的に学習していくことができるようにすることで、全常用漢字を最小の労力で学習できるように構成した。

ところで、先に語を中心に学習する上で、その語を構成する未習漢字が障害になることを指摘したが、ここで設定された基本語においては、原則、未習漢字が含まれないように構成されており、未習漢字に悩まされずに学習を続けることができるようになっている¹¹。この基本語学習を終えた後は、基本語以外の語の学習に進むことになるが、その段階では全常用漢字が既習になっているので、当然、学習を進める上で未習漢字の問題は生じない。

この基本語の設定の他、難度の高い語、特殊な語の区別もすることで、基本語の学習の後、徐々に難しい語へと語彙を段階的に広げつつ、常用漢字の復習をくり返し行うことができるように構成した。

4 本教材を使った学習の手順

以下では、想定している本教材を使った学習手順を示す。

第一段階：基本語（約 3,700 語）の学習（全常用漢字の読みの習得）

ステップ1 学習漢字の基本的知識の形成

学習漢字の字形、基本語の意味と読み、及びそれを構成している漢字について、既習漢字知識を活用しながら学習する。

ステップ2 語例の使い方と関連語の学習

ワークブックで、学習した漢字の語例の使い方や関連語を学習する。基本語の問題は、ワークブックの項目番号が白抜き黒丸で表示されており、太字で示されている語が基本語なので、その意味と読みと使い方を確実に覚える。

以上の学習をユニット 156 まで修了する。学習した基本語は約 3,700 語となり、この段階で全常用漢字の字形、主な読みのすべてが習得できる。新聞や雑誌など、日常目にする日本語の読み物に現れる漢字のほとんどすべてについて、その意味や読みが推測できるようになる。

第二段階：無印語（約 5,000 語）の学習（常用漢字の読みの復習と語彙の拡充）

第二段階では、習得した常用漢字すべてについて復習をしながら、同時に語彙を増強する。ユニット 1 に戻り、無印の語について、基本語についてと同様の仕方で学習をしていく。第一段階の学習で、すべての常用漢字は既習になっているので、基本語の学習時よりも覚えるべき語数は多くなるが、学習は速く進むと考えられる。この方法でユニット 156 まで修了する。全常用漢字の語彙が増強され、特殊な読みを除いて、すべての常用漢字の読みが習得された状態となる。

第三段階：「◇」や「歴」、「特」の語の学習（約 800 語）（常用漢字の読みすべての習得と語彙の拡充）

「◇」（語彙的に難易度が高く、学習の優先順位が他の語例に比べて低い語）や「歴」（歴史・文学に関する特殊な語、現在ではあまり使われない語）、「特」（極めて稀にしか使われない語、使用域が限られている語）の語について、ユニット 1 に戻って学習をしていく。これらの語は、一般的には重要性が低い語と考えられる語で、ワークブックでもほとんど扱われていない。必要に応じて学習を進めることになるが、常用漢字の読みを 100%完璧にマスターしたい場合は、これらの語も含めて学習することが必要となる。

5 その他の変更点

旧版と比較すると、改訂新版での最も大きな変更点は、基本語の設定と、それによる語彙レベルでの段階的学習の実現であるが、それ以外にも、様々な変更を加え、より一層、使いやすい教材を目指した。以下では、旧版からの主な変更点について挙げる。

漢字の書き順・画数の追加

先に述べたように、本教材は、漢字の読みに焦点を充てて構成した。そのため、旧版では漢字の書き順の提示をしていなかった。しかし、書き順によって漢字の構造が分かりやすくなること、書くことによって漢字を習得するという学習スタイルを有する学習者も多いこと等から、全常用漢字について書き順・画数を含めることにした。

語彙・英訳・文例の再検討

旧版出版から20年が経過し、選ばれた語彙や文例についても古さが目立つようになった。例えば、「大蔵省」、「助教授」、「看護婦」といった社会的に使われなくなった語や、「洋裁」等、あまり使われなくなった語などである。改訂新版では、語彙・文例すべてについて見直しを行った。また、英訳においても、旧版を使った学習者からのフィードバックを基に、全面的に見直しを行った。

索引の変更

旧版においては、漢字の索引として、音訓索引、字形索引、総画索引、語彙索引の4つがあり、漢字の読みが分かっている場合は音訓索引、読みが分からない場合は字形索引を用い、字形索引で見つけられないものについてのみ、総画索引で調べるようになっていた。

改訂新版では、字形索引を見直し、すべての漢字が字形索引で見つけられるようにし、総画索引を廃止した。

ワークブックの再構成

ワークブックで提出される語や文は、それが語の実際の使用例ともなっており、語の意味や具体的な使い方、そして関連語を身に着ける上でも非常に重要な役割を果たしている。先述の通り、このワークブックの文例を全面的に見直すと共に、正答を別冊とすることで、練習をしやすくする工夫をした。

また、基本語の問題とそうではない語の問題が区別できるようにすることで、基本語に絞ってワークブックの学習を段階的に進めることもできるようにした。基本語については、そのすべてがワークブックで取り上げられていることから、ワークブックの学習のみで、全基本語の復習ができるように構成されている。

6 おわりに

2013年12月に出版以来、『改訂版 Kanji in Context』は旧版同様、中上級漢字学習のための教材として好評を博している。本センターにおいても、2014年9月から2015年6月までのレギュラーコースにおいて、この新教材を初めて使用し、これまで以上にSKIP達成率が向上する等、期待した以上の効果を得た。旧版で用意されていた様々な副教材（学習ソフトウェア、アプリ等）については、すべてが改訂新版に移行されたとは言えない等、まだまだやるべきことは多いが、今後、本教材を中心に学習する上で役立つ副教材・周辺教材の開発に力を入れ、本教材を使っただけの学習が更に充実したものになるよう引き続き努力していきたいと考える¹²。

注

- 1 新常用漢字表で追加された196字、削除された5字は以下の通りである。

【追加】 (196字)

挨、曖、宛、嵐、畏、萎、椅、彙、茨、咽、淫、唄、鬱、怨、媛、艷(艶)、旺、岡、臆、俺、苛、牙、瓦、楷、潰、諧、崖、蓋、骸、柿、顎、葛、釜、鎌、韓、玩、伎、亀(龜)、毀、畿、臼、嗅、巾、僅、錦、惧、串、窟、熊、詣、憬、稽、隙、桁、拳、鍵、舷、股、虎、鯛、勾、梗、喉、乞、傲、駒、頃、痕、沙、挫、采、塞、埼、柵、刹、拶、斬、恣、摯、餌、鹿、叱、嫉、腫、呪、袖、羞、蹴、憧、拭、尻、芯、腎、須、裾、凄、醒、脊、戚、煎、羨、腺、詮、箋、膳、狙、遡、曾(曾)、爽、瘦、踪、捉、遜、汰、唾、堆、戴、誰、旦、綻、緞、酎、貼、嘲、抄、椎、爪、鶴、諦、溺、填、妬、賭、藤、瞳、析、頓、貪、井、那、奈、梨、謎、鍋、勺、虹、捻、罵、剥、箸、汜、汎、阪、斑、眉、膝、肘、阜、訃、蔽、餅(餅)、璧、蔑、哺、蜂、貌、頰、睦、勃、昧、枕、蜜、冥、麵、冶、弥(彌)、闇、喻、湧、妖、瘍、沃、拉、辣、藍、璃、慄、侶、瞭、溜、呂、賂、弄、籠、麓、脇

【削除】 (5字)

勺、錘、銑、脹、匆

- 2 旧版と改訂新版の基本的な違いを以下にまとめる。

旧版『Kanji in Context』	『改訂新版Kanji in Context』
総漢字数 1,947字 (旧版常用漢字1,945+2)	総漢字数 2,136字 (改訂常用漢字)
総語彙数 約9,000語	総語彙数 約9,500語 (うち基本語約3,700語)
ユニット数 143ユニット (第1～第6水準)	ユニット数 156ユニット (第1～第7水準)
リファレンスブック A5 398ページ	本冊 B4 393ページ
ワークブック 1 B4 199ページ	ワークブック 1 B4 201ページ
2 B4 103ページ	2 B4 132ページ
1994年発行	2013年発行

- 3 本校のレギュラーコースは10か月間であり、その中で本教材を使った全常用漢字の学習(SKIP)が必修とされている。2014-15年度レギュラーコースにおけるSKIPコースの実施については、本年報の[大竹弘子「2014-15年度カリキュラム報告—アメリカ・カナダ大学連合日本研究センターの中上級日本語集中教育—」](#)を参照のこと。

- 4 尚、以下の 3-1 と 3-2 は旧版と共通する特徴、3-3 は改訂新版における特徴である。旧版作成時のコンセプトについては、西口光一 (1993) 「中上級漢字教育システムの新しいコンセプトと教材開発」 「アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要 16」を参照のこと。
- 5 本教材の書名「Kanji in Context」は、まさに漢字が様々な要素と相互に関係を有しており、それらの関係において初めて意味を持つという漢字の基本特性を念頭に学習を行うべきであることを示している。漢字における相互関連性は、一つには偏や旁に代表される構成素から漢字、語、文へとつながる縦の関係、そして、漢字が他の漢字との対立によって意味を生じる横の関係の双方で漢字を理解していく必要性を示している。本教材における既習漢字との結びつきを重視した漢字提出順、未習漢字が障害とならないよう語の習得ができるような配列、ワークブックにおける語例、関連語の提示等は、すべてこの様々な関係の中で漢字を学習するという考えに基づく。
- 6 各水準の漢字数と選定の基準は以下の通りである。
- 第1水準 (250 字) : 初級の日本語コースを終了した学習者であれば必ず学習した経験があると考えられる基礎的な漢字
- 第2水準 (100 字 累計 350 字) : 中級の日本語コースで学習している学習者であれば必ず学習した経験があると考えられる漢字
- 第3水準 (850 字 累計 1,200 字) 中級の日本語コースで一般的に学習されると考えられる漢字
- 第4水準 (220 字 累計 1,420 字) 中級の日本語コースでしばしば現れるが一般的とは考えられない漢字、あるいは、上級の日本語コースで一般的に学習されると考えられる漢字
- 第5水準 (412 字 累計 1,832 字) 上級の日本語コースでしばしば現れるが一般的とは考えられない漢字
- 第6水準 (110 字 累計 1,942 字) 特別な領域や分野の特殊な語彙の中でしか使われない漢字
- 第7水準 (194 字 累計 2,136 字) 改訂常用漢字表で新たに加えられた漢字 (「誰」と「賂」は第1と第4水準で学習)
- 7 尚、第5水準においては、主に字形要素の共通性、第6、7水準では語彙体系を中心に配列がなされている。
- 8 現在の日本語能力試験 (JLPT) ではシラバスが公開されていないが、おおよそ1級はN1、2級はN2、3級はN4、4級はN5に当たるとされている。旧日本語能力試験の出題基準については、国際交流基金・日本国際教育教会 (2002) 『日本語能力試験 出題基準 [改訂版]』凡人社を参照。

- 9 参考までに、4級の漢字で第1水準に含まれないものは、花(16)、空(28)、天(28)、魚(30)である。()内はユニット番号) 3級の漢字で第3水準に含まれないものはない。また、2級の漢字で第4水準に含まれない漢字は以下の通りである。
- 塔(117) 怖(118) 憎(119) 狭(119) 搜(119) 操(120) 泥(120) 沸(120) 溶(121) 滴(121) 粉(123) 粒(123) 詰(124) 頂(128) 荒(129) 菓(129) 零(130) 召(130) 塗(130) 香(131) 層(132) 磨(132) 膚(133) 双(134) 耕(135)
- 10 常用漢字の読みの中には、語自体が特殊であったり、使用域が限られていたり、語の頻度が低いものもあるため、そのような読みの語については基本語に含めず、後の学習(第2、第3段階)で習得すべきものとした。尚、基本語に含まれない、常用漢字読みの語のリストを資料として稿末に付す。基本語の学習の後、第2、第3段階の学習に進まず、このリストの語彙だけを学習することによっても、常用漢字全ての読みをマスターすることが可能である。
- 11 ただし第1、2水準で提出される漢字(350字)は、中上級学習者には既習であると考え、すべて既習語として扱っている。
- 12 旧版においては、PC用のアプリケーション(青木(2004)「『Kanji in Context』準拠の常用漢字学習ソフトウェア作成報告」参照)やiPhoneアプリであるiKICといった学習用ソフトウェアの他、本校レギュラーコース内で実施するための複数種類のクイズやテスト等が用意されていた。改訂新版への移行にあわせ、これらも随時、改訂新版に準拠したものに変更している。また、改訂新版のデータを活用し、テスト作成を支援するシステムや、学習者がネットワーク経由で手軽に漢字の学習ができるシステムの開発が既に進められている。(本年報の[秋澤委太郎「『Kanji in Context』をWebから使う—長期的な使用に耐える多目的教育リソースの構築とその活用例—」](#)を参照のこと)

資料

水準	語種			
L1		千島列島	ちしまれつとう	the Kuril Islands
L1	◇	火影	ほかけ	light of a fire/flame
L1	◇	木立	こだち	grove, cluster of trees
L1	◇	金堂	こんどう	main hall of a temple, golden pavilion
L1		上着	うわぎ	coat, jacket
L1		本	もと	the beginning, the origin
L1		机上の空論	きじょうのくうろん	armchair theory
L1	歴	南無妙法蓮華經	なむみょうほうれんげきょう	chant of the Tendai and Nichiren sects of Buddhism, taken from the Lotus Sutra
L1		白夜	びやくや	nights under the midnight sun
L1		白む	しらむ	grow light
L1	◇	赤銅色	しゃくどういろ	bronze(-colored), copper(-colored)
L1	特	緑青	ろくしょう	copper/green rust, patina
L1	歴	行脚	あんぎゃ	cv. make a pilgrimage, go on a (walking) tour
L1		会釈	えしやく	cv. bow slightly
L1		神道	しんどう	Shintoism, Shinto
L1		女房	にようぼう	(my/one's) wife
L1		老若男女	ろうじやくなんによ, ろうにやくなんによ	men and women of all ages
L1		扇子	せんす	folding fan
L1		坊主	ぼうず	Buddhist priest, shaven head, boy
L1	◇	奥義	おうぎ	secrets, key principles
L1	◇	長兄	ちょうけい	one's oldest brother
L1		子弟	してい	children, young people
L1	◇	幾何学	きかがく	geometry
L1	歴	大名	だいまう	daimyo, feudal lord
L1	歴	新妻	にいづま	newly married woman
L1	◇	一朝一夕	いちよういつせき	in a day, in a short time
L1	◇	夏至	げし	summer solstice
L1		磁石	じしゃく	magnet, compass
L1	歴	～石	～こく	koku (unit of volume, approx. 180 liters)
L1	◇	八重桜	やえざくら	double-flowered cherry tree
L1	◇	軽やかに	かるやかに	lightly, merrily
L1		早速	さっそく	immediately, right away
L1		浅薄な	せんぱくな	shallow, superficial
L1	◇	若しくは	もしくは	or, otherwise
L1	◇	断食	だんじき	fast, fasting; cv.fast
L1	◇	来す	きたす	cause, bring about, lead to
L1		酒屋	さかや	liquor shop
L1		境内	けいだい	precinct (of a temple/shrine)
L1	特	回向	えこう	cv. hold a memorial service
L1		世間体	せけんてい	appearance
L1	◇	異口同音に	いこうおんに	with one voice, with one accord
L1		面目	めんぼく, めんもく	face, honor, reputation
L1		歩合	ぶあい	percentage, commission
L1		歩み	あゆみ	walking, history (of a company/school/etc.)
L1	特	歩	ふ	pawn (in Japanese chess)
L1		前代未聞の	ぜんだいみんもの	unheard-of, unprecedented
L1		句読点	くとうてん	punctuation marks
L1	◇	読本	とくほん	reader (as in a textbook)
L1	◇	貸借	たいしゃく	cv. lend and borrow, debt and credit
L1	◇	出納係	すいとうがかり	cashier, teller
L1		払拭	ふつしょく	cv. sweep away, wipe out
L1		愛着	あいちゃく, あいじゃく	love, attachment, affection
L1		通夜	つや	wake, vigil
L1	◇	集う	つどう	gather, get together, meet
L1		不治の病	ふちのやまい, ふじのやまい	incurable/fatal disease
L1	◇	疾病	しつぺい	disease, illness
L1		雨水	あまみず	rainwater
L1		京阪神地方	けいはんしんちほう	the Kyoto-Osaka-Kobe area
L1	◇	映える	はえる	shine, glow, look nice
L1	◇	給仕	きゅうじ	waiter, waitress, cv. wait on

L1	◇	好事家	こうずか	a dilettante, a person of unusual tastes
L1	特	言質	げんち	pledge, promise, word (as in "give one's word")
L1		静脈	じょうみやく	vein
L1		一切	いっさい	(affirmative verb) all, the whole, everything; (negative verb) nothing, not at all
L2	◇	号泣	ごうきゅう	cv. cry bitterly
L2		押収	おうしゅう	cv. seize, confiscate
L2	◇	吹奏楽	すいそうがく	wind-instrument music
L2	◇	舞踏会	ぶとうかい	a dance/ball
L2		合併	がっぺい	cv. merge, consolidate
L2	歴	拾万円	じゅうまんえん	one hundred thousand yen
L2	◇	流布	るふ	cv. circulate, spread
L2		定石	じょうせき	a standard move (in the games of go and shogi), standard method
L2		遊説	ゆうぜい	cv. make an election tour, canvass
L2	◇	説く	とく	explain, expound, advocate, persuade
L2	◇	解脱	げだつ	
L2		結う	ゆう	dress/do up (one's hair), tie (up), fasten
L2		自業自得	じごうじとく	the natural consequences of one's evil deed, getting one's just deserts
L2	◇	趣	おもむき	grace, elegance, charm, appearance, taste
L2		旅客機	りよかくき	passenger airplane
L2	歴	文	ふみ	a letter (to someone)
L2	◇	花園	はなぞの	flower garden
L2	◇	館	やかた	mansion, palace
L2	歴	室町時代	むろまちじだい	Muromachi era, 14-16th century
L2	歴	機	はた	loom
L2		涼風	りようふう	cool/refreshing breeze
L3	歴	戦	いくさ	war, battle
L3	◇	謀反	むほん	rebellion, treason
L3	特	反物	たんもの	a roll of cloth for kimono
L3	歴	街道	かいどう	main road
L3		封建制度	ほうけんせいど	feudalism
L3	◇	成就	じょうじゆ	cv. accomplish, attain, realize
L3	◇	速やかに	すみやかに	immediately, promptly
L3	◇	因る	よる	be caused by, be due to
L3	◇	幾何学	きかがく	geometry
L3	◇	綿糸	めんし	cotton thread
L3		交代	こうたい	cv. take turns
L3	◇	飲み代	のみしろ	money for drinking
L3	◇	供物	くもつ	offering, votive offering
L3		価	あたい	price, value
L3		昔日	せきじつ	old days
L3	歴	今昔物語集	こんじゃくものがたりしゅう	Konjaku Monogatari Shuu (a collection of folktales edited in the 12th century)
L3		面	おもて	face, surface
L3	◇	面	つら	face [impolite]
L3	◇	書き初め	かきぞめ	first (calligraphy) writing of the New Year
L3	◇	初々しい	ういういしい	innocent, naïve
L3	◇	門松	かどまつ	pine branch decoration for the New Year
L3	歴	関所	せきしょ	border gate (in the Edo period), barrier
L3		係る	かかる	be related to
L3		懸念	けねん	cv. worry, be anxious
L3	歴	明星	みょうじょう	Venus
L3		光る	ひかる	shine, glitter, twinkle
L3		風呂	ふろ	bath
L3		凡例	はんれい	explanatory note, map legend
L3		共鳴	きようめい	cv. resonate with, sympathize with, agree with
L3		羽根	はね	a feather, plumage
L3	特	干る	ひる	get dry, become parched
L3	◇	発汗	はっかん	cv. perspire
L3	◇	手形	てがた	promissory note
L3	◇	成就	じょうじゆ	cv. accomplish, attain, realize
L3	特	法被	はっぴ	workman's jacket (today worn primarily in festivals)
L3	特	法主	ほうしゆ, ほっしゆ, ほつす	head of a Buddhist sect
L3		律儀な	りちぎな	dutiful, conscientious
L3	歴	勤行	ごんぎょう	(Buddhist) religious service
L3	特	字	あざ	section of a town/village
L3	◇	教寄屋橋	△すきやばし	Sukiyabashi (a place near Ginza)
L3	歴	摂政	せつしょう	regent, regency
L3	歴	政	まつりごと	affairs of state

L3	歴	大路	おおじ	main street cf. 大通り(おおどおり) rather than 大路 is used in modern Japanese
L3	歴	民	たみ	the people, citizens
L3		子守歌	こもりうた	lullaby
L3	◇	病床	びょうじょう	sickbed
L3	特	庫裏	くり	priest's living quarters at a Buddhist temple
L3		丁字路	ていじろ	T junction
L3	◇	狭心症	きょうしんしょう	angina
L3	歴	玉	ぎよく	jewel, jade
L3		本望	ほんもう	complete satisfaction
L3	◇	金の亡者	かねのもうじゃ	a person who desires only/mainly money
L3	特	末子	ばっし, まっし	youngest child
L3		神主	かんぬし	Shinto priest
L3	特	神々しい	こうごうしい	divine, holy
L3		弓道	きゅうどう	Japanese archery
L3	◇	一矢を報いる	いっしをむくいる	retaliate, fight back
L3	歴	百姓	ひゃくしょう	farmer
L3		責任転嫁	せきにんてんか	cv. shift the responsibility (for something on somebody)
L3		女婿	じよせい	son-in-law
L3	◇	登坂	とうはん, とはん	cv. go up a slope
L3	◇	相殺	そうさい	cv. offset
L3	歴	殺生	せつしょう	cv. destroy/take life
L3		施工	せこう	cv. construct, carry out a construction project
L3	◇	声色	こわいろ	voice impersonation, a tone of voice
L3	特	大音声	だいおんじょう	very loud voice
L3		由緒ある	ゆいしょある	be from a noble family, historic
L3	◇	～の由	～のよし	I heard that ~ (used in letters)
L3	歴	富貴	ふうき	riches and honors
L3	◇	興る	おこる	prosper, emerge
L3	◇	知己	ちき	acquaintance
L3	◇	己	おのれ	oneself
L3		麦芽	ぼくが	malt
L3	歴	従～位	じゅ～い	rank in the system of office grades first established in ancient Japan
L3	特	従容として	しょうようとして	calmly, with composure/serenity
L3	歴	雪舟	せつしゅう	(name of a famous Japanese painter in the medieval period)
L3	◇	風情	ふぜい	manners, elegance, taste
L3	◇	敵	かたき	enemy, foe, rival
L3		～次第	～しだい	as soon as ~, depending on ~
L3	◇	旬	しゅん	height of the season
L3		極秘	ごくひ	strict secrecy, top secret
L3		端数	はすう	a fraction
L3	◇	商い	あきない	dealing, business
L3	特	郵袋	ゆうたい	mailbag
L3		基	もと, もとい	basis
L3	◇	礎	いしずえ	cornerstone
L3		お節料理	おせちりょうり	traditional Japanese New Year's cuisine
L3		お歳暮	おせいぼ	year-end gift
L3	◇	常夏の国	とこなつのくに	a land of everlasting summer
L3		葉巻	はまき	cigar
L3		放つ	はなつ	shoot, emit, let loose
L3	◇	放る	ほうる	throw, toss
L3	特	緑青	ろくしょう	copper/green rust, patina
L3	◇	納屋	なや	barn, shed cf. *倉庫(そうこ) warehouse, storehouse
L3	◇	出納	すいとう	revenues and expenditures
L3	◇	納戸	なんど	storage room, closet
L3		財布	さいふ	wallet, pocketbook
L3	歴	氏神	うじがみ	local guardian deity
L3	◇	接ぐ	つぐ	join together
L3	歴	契る	ちぎる	pledge (one's love, etc.)
L3	特	六根清浄	ろっこんしょうじょう	be completely purified
L3		提げる	さげる	carry in one's hand
L3		折	おり	occasion, opportunity
L3	特	光輝	こうき	brilliance, luster
L3	特	験	げん	omens
L3		賭博	とぼく	gambling, gaming
L3	◇	権化	ごんげ	incarnation
L3		示唆	しさ	cv. suggest, hint at
L3	特	宗家	そうけ	the head family, the originator (of a sect)
L3		浮力	ふりよく	buoyancy
L3		乳首	ちくび	nipple

L3	特	助六	すけろく	name of a famous character in Kabuki drama
L3		披露宴	ひろうえん	(wedding) reception, banquet
L3		格子	こうし	lattice, grille
L3	◇	灯	ひ	light
L3	特	普請	ふしん	cv. build, construct, make repairs
L3	特	人絹	じんけん	artificial silk
L3	特	織機	しょつき	a (clothing) loom
L3	特	帰依	きえ	cv. become a believer (in a religion)
L3	◇	幸	さち	happiness, fortune
L3	特	揚子江	ようすこう	the Yangtze River
L3	特	沖積層	ちゅうせきそう	alluvial layer
L3		宮内庁	くないちょう	the Imperial Household Agency
L3	歴	討つ	うつ	attack, defeat
L3		桜花	おうか	cherry blossoms
L3		開眼	かいげん	cv. be spiritually enlightened, be initiated into the mysteries of an art
L3		血眼になって	ちまなこになって	frantically
L3		瞬き	またたき	twinkling cf. 輝き(かがやき) glittering
L3	特	舞	まい	dancing, a dance
L3		合板	ごうはん, ごうばん	plywood
L3	歴	兵糧	ひょうろう	military provisions
L3	特	軍靴	ぐんか	army boots
L3	特	統べる	すべる	govern
L3	歴	臣民	しんみん	subjects (in contrast to royalty)
L3	◇	競る	せる	compete, bid
L3	歴	近郷	きんごう	neighboring villages
L3	歴	童	わらべ	child
L3	特	鼻緒	はなお	thongs on geta
L3	特	市井の人	しぜいのひと	ordinary citizens, the common people
L3	◇	感涙	かんるい	tears (of strong emotion)
L3	特	肩章	けんしょう	epaulet
L3		胸毛	むなげ	chest hair
L3	特	氷室	ひむろ	icehouse
L3	特	久遠	くおん	eternity, time immemorial
L3	◇	肝	きも	liver, guts
L3	◇	洞穴	どうけつ	cave, cavern
L3	◇	仰天	ぎょうてん	cv. be astonished
L3	特	仰せ	おおせ	your wish [honorific]
L3	歴	幕府	ぼくふ	the shogunate
L3	歴	武者	むしや	warrior
L3	特	居候	いそうろう	freeloader cf. this word refers to someone who lives off others
L3	特	貢ぐ	みつぐ	pay tribute, supply (a person) with money
L3	歴	年貢	ねんぐ	annual tribute, land tax paid in kind
L3	◇	栄えある	はえある	honorable, glorious
L3	◇	栄える	はえる	shine, be bright, glow
L3		荘厳な	そうごんな	solemn, sublime
L4	◇	返戻	へんれい	cv. give back, return
L4		稲作	いなさく	rice growing
L4	特	水稻	すいとう	paddy rice
L4	特	一隅	いちぐう	corner, nook
L4	歴	伺候	しこう	cv. attend (one's lord), make a courtesy call
L4		背丈	せたけ	one's height, stature
L4	◇	牧場	まきば	pasture
L4	歴	兵糧	ひょうろう	military provisions
L4	◇	日々の糧	ひびのかて	one's daily bread
L4	◇	紅	くれない	crimson
L4	◇	柔和な	にゅうわな	gentle, mild, tender, soft
L4	◇	短冊	たんざく	strip of fancy paper (for writing haiku, etc.)
L4	◇	煮沸	しゃふつ	cv. vt. boil, scald
L4	歴	香華	こうげ	incense and flowers
L4	特	寿	ことぶき	congratulations, longevity
L4	◇	闘う	たたかう	fight, struggle
L4	特	釣果	ちょうか	catch (in fishing)
L4	特	電鈴	でんれい	electric bell
L4	◇	鋼	はがね	steel
L4		旨	むね	to the effect that, principle
L4	◇	栄枯盛衰	えいこせいすい	prosperity and decline, vicissitudes
L4		羞恥心	しゅうちしん	sense of shame
L4	◇	寂然とした	せきぜんとした, じゃくねんとした	lonely, desolate
L4	◇	滑稽な	こっけいな	funny, comical, ludicrous
L4	◇	興味津々	きょうみしんしん	very interested

L4	◇	獲る	える	get (wild game, etc.)
L4	◇	愛猫家	あいびょうか	cat lovers
L5	特	弦	つる	bowstring, string (on an instrument)
L5	◇	懐	ふところ	bosom, breast pocket
L5	◇	掛	かかり	section cf. 係 is normally used
L5	歴	操	みさお	chastity, virginity
L5	◇	泌尿器科	ひにょうきか	urology department
L5	特	清澄な	せいちょうな	clear
L5	特	棟木	むなぎ	ridgepole, rooftree
L5		脚立	きやたつ	stepladder
L5	特	矯める	ためる	correct, cure (a bad habit)
L5	歴	縄文式土器	じょうもんしきどき	straw-rope pattern pottery
L5	◇	唯々諾々として	いいだくたくとして	obediently, tamely, submissively
L5		煩惱	ぼんのう	carnal desire, worldly passions, lust
L5	歴	奉行	ぶぎょう	magistrate (in the Edo period)
L5	歴	奉る	たてまつる	offer, present, revere [humble]
L5	特	妄言	もうげん, ぼうげん	thoughtless words, falsehood
L5		色香	いろか	the charms (of a woman), color and scent
L5	特	香車	きょうしゃ	lance (in Japanese chess)
L5		唐草模様	からくさもよう	arabesque pattern
L5		鬼才	きさい	unusual ability, genius (at)
L5	◇	堪忍	かんにん	cv. forgive, be patient with
L5	◇	謀反	むほん	rebellion, treason
L5	歴	伯叔	はくしゆく	uncles
L5	◇	朽ちる	くちる	rot, decay, crumble
L5		口唇	こうしん	lips (of the mouth)
L5	◇	懇ろに	ねんごろに	intimately, courteously
L5	◇	麗しい	うるわしい	beautiful, graceful, elegant
L6		地下茎	ちかけい	underground/subterranean stem
L6	特	種苗	しゅびょう	seeds and seedlings
L6	特	薪炭	しんたん	firewood and charcoal, winter fuel
L6		繁茂	はんも	cv. grow thickly/luxuriantly
L6	特	沼沢地	しょうたくち	marshland, swampy areas
L6		堤	つつみ	bank, embankment, dike
L6	特	桑園	そうえん	mulberry plantation
L6	特	穂状の	すいじょうの	ear-shaped
L6	特	早暁	そうぎょう	early dawn
L6		仁王	におう	the guardian gods of a temple gate, the two Deva kings
L6		下賜	かし	cv. give [honorific]
L6	特	徹宵	てっしょう	overnight, without sleep
L6	歴	繭糸	けんし	silk thread
L7		好餌	こうじ	easy victim, easy prey
L7	特	眉目秀麗な	びもくしゅうれいな	handsome
L7		瘦身	そうしん	thin body
L7	特	出藍の誉れ	しゅつらんのはまれ	surpassing one's teacher/master
L7	特	領袖	りょうしゅう	leader, head
L7		旦那	だんな	one's master, one's husband, patron, sir
L7		貼付	ちょうふ	cv. stick on, paste on, affix on
L7	特	諦観	ていかん	cv. resign oneself
L7	特	古刹	こさつ	historic old temple
L7	特	錦糸	きんし	thread of brocade